

# 資金調達だけではない

# CF型で沼田まつり盛大に

ふるさと納税制度の本来の目的は、地域を応援したい、貢献したいという思いを事業に反映させることです。市は寄付金の使い道としてより具体的な事業を示し、共感した人から寄付を募る「クラウドファンディング型ふるさと納税（CF型）」を活用し、4年ぶりに開催された沼田まつりの運営費用に充てました。

市は各種経費の増加を受け、従来の企業や団体からの協賛金だけでなく、全国の個人からも寄付を募る仕組みとして初めてCF型を導入しました。6月19日から7月31日まで募集したところ、

879千円が集まりました。53人の支援があり、県内外からの寄付をはじめ、本市出身またはゆかりのある準市民からも多数ありました。本市を離れて50年以上経つ寄付者からは、「お祭りを通して、ま

ちや人に活力と夢を与えて」と、温かいメッセージもありました。

寄付は、初めて導入したみこしやまんのリアルタイム位置情報の配信、熱中症対策として大型冷風機レンタル料や給水コーナーなどに活用。

メイン会場が旧市役所から中央公民館跡地に代わり、変則的な運営になりましたが、多くの人の協力と熱気の後押しで盛大に開催できました。

市はこれまでに、「歴史文化のまちづくりプロジェクト」や「with コロナ in NUMATAプロジェクト」、「久米邸洋館移築プロジェクト」でCF型を導入しています。



上から「セイヤ、セイヤ」と、威勢の良い掛け声で、メイン会場に集結する各町のみこし/リアルタイム位置情報サービス「ドコニール」で、探す時間を大幅に短縮

## 沼田まつりを全国にCF型で広がる可能性

初めてのCF型に、多くのご支援をいただいたことに感謝いたします。ご来場いただいた皆さんが、それぞれに4年ぶりの祭りを楽しんでいた様子が思い出され、CF型を通して全国に発信できる祭りとして「沼田まつり」を意識するようになりました。来年度に向け改善を図り

ながら、より多くの皆さんが楽しめるように内容を充実させていきたいと考えています。



産業振興課  
安藤一輝

